

# 子どものための 京都式少人数教育

義務教育9年間を見通し、学年の特性や児童生徒の発達段階に応じて指導方法や指導体制を工夫することのできる、京都府独自の方式です。

小1・小2の  
35人学級の実施



## 中学校少人数教育推進

- 35人を超える学級規模の解消  
又は、
- 英語・数学を中心とした習熟度別授業  
の充実

## 小学校

1年

2年

## 小学校

3年

4年

5年

6年

## 中学校

1年

2年

3年

## 小学校低学年指導充実

基本的な生活習慣や学習規律が早期に身に付くよう、**小学校1・2年で2人の教員による指導**を行います。配置は**1学級30人を超える学級を基本**としますが、各学校の状況により弾力的に運用しています。

## 京の子ども・少人数教育推進

基本的に**小学校3年生から中学校3年生まで**、「**少人数授業**」、「**チームティーチング**」、「**少人数学級**」を、市町（組合）教育委員会が学校や子どもの状況に応じて選択して実施します。

### 少人数授業

子どもの興味・関心や習熟の程度などによって、特定の教科で学級の枠を超えた20人程度のグループで指導

### チームティーチング

1学級を2人の教員が協力して指導

### 少人数学級

小学校で30人程度、

中学校で35人以下の学級編制が可能

各市町村教育委員会が、学校や児童生徒の状況に応じて「少人数授業」「チームティーチング」「少人数学級」を選択し組み合わせることにより、児童生徒一人一人を一層大切にしたいきめ細かな指導をさらに進め、学力の向上を図ります。